

### 5.1.3 廃棄物の分布状況と埋積量

#### (1) 廃棄物の性状および分布状況

廃棄物の種類としては、以下の種類に区分した。

- ① バーク堆肥を主体とする廃棄物 (wa(b))
- ② 焼却灰を主体とする廃棄物 (wa(a))
- ③ RDF 様物を主体とする廃棄物 (wa(r))
- ④ 汚泥を主体とする廃棄物 (wa(o))

その他、盛土 (b) を区分した。

廃棄物の種類毎の性状を以下に示す。

#### 1) バーク堆肥を主体とする廃棄物 (wa(b))

バーク堆肥を主体とする廃棄物は、全体的に黒色を呈す礫混りバーク堆肥からなり、金属片、ガラス片、ビニール片等が混在している。No.11 孔の深度 1.5m には白色の化学薬品様物が混在しており、全体的に有機溶剤臭やわずかに薬品臭がある。



写真 5. 1. 1 バーク堆肥を主体とする廃棄物状況 (No. 10 孔 0.0~5.0m)

#### 2) 焼却灰を主体とする廃棄物 (wa(a))

焼却灰を主体とする廃棄物は、全体的に黒～暗灰色を呈す礫径最大 3 cm 程度の礫混り焼却灰からなり、バーク片、ビニール袋、ガラス片、木片、金属片などが混在している。No.11 孔の深度 2.4m 付近や 3.9m 付近には茶色を呈する薬品様物が確認されている。

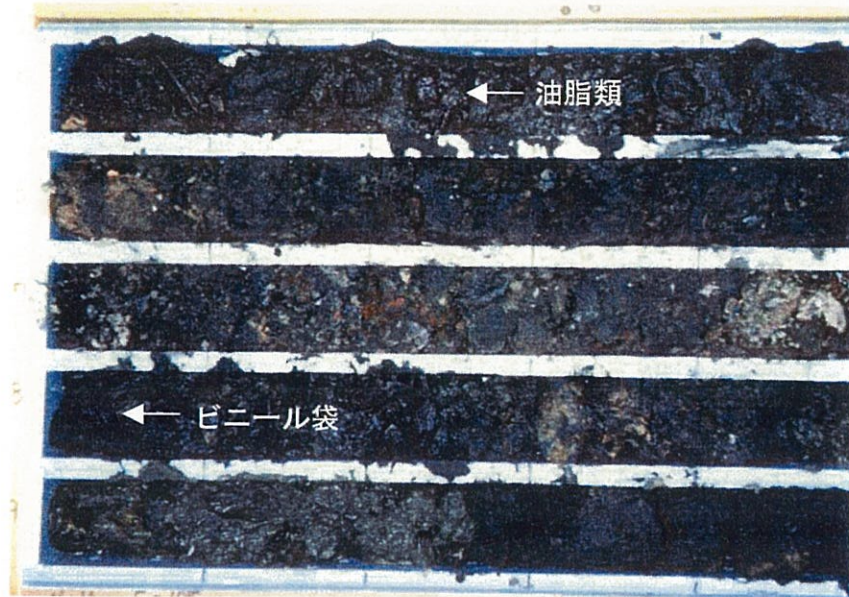


写真5. 1. 2 焼却灰を主体とする廃棄物状況 (No. 11 孔 5.0~9.5m 付近)

### 3) RDF 様物を主体とする廃棄物 (wa(r))

RDF 様物を主体とする廃棄物は、そのほとんどがプラスチック片、ビニール片、木片等からなる RDF 様物である (写真 5.1.3) が、一部 (例えば、No.14 孔の深度 3.8~5.1m) には礫混じり土砂と混合させて不法投棄されている箇所もある。

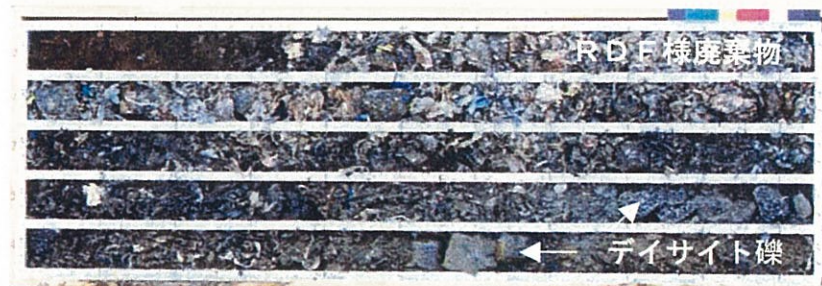


写真5. 1. 3 RDF 様物を主体とする廃棄物状況 (No. 14 孔 0.0~5.0m)

### 4) 汚泥を主体とする廃棄物 (wa(o))

汚泥を主体とする廃棄物は、灰褐色を呈し含水比が非常に高くコアとして採取しにくいへドロ状の廃棄物である (写真 5.1.4)。



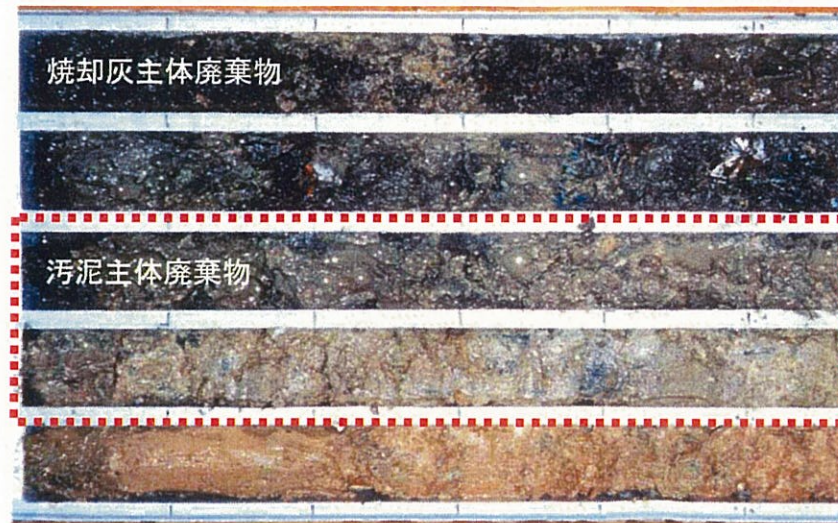


写真5. 1. 4 汚泥を主体とする廃棄物状況 (No. 11 孔 10.0~14.5m 付近)

以上の廃棄物は次のような位置に埋積されている。

廃棄物底面等高線図を図 5.1.13 に示し、各廃棄物の分布状況を図 5.1.14 にそれぞれ示す。

地表では堰堤が設置されているなど、谷部の層厚が厚く、旧尾根部は薄くなっているようである。ただし、A 断面沿いは地形的には斜面に位置しているが、廃棄物が谷部と同様に厚く分布していることから、切土等により埋立場を確保し埋積された可能性が高いと考えられる。

## (2) 廃棄物の推定量

図 5.1.8~図 5.1.12 に示した A 測線~I 測線沿いの地質断面図と高密度電気探査結果図に基づき廃棄物の量を推定した。

推定量一覧表を表 5.1.1 に示す。

概略計算した結果、約 9 万  $m^3$  の覆土された土砂（盛土）を除く埋積された廃棄物は、約 52 万~63 万  $m^3$  (平均 57 万  $m^3$ ) が見積もられ、仮置きされた堆肥や中間処理場の堆肥を加えると、約 67 万  $m^3$  の廃棄物量が推定される。



凡 例

- : 実施ボーリング地点
- : 既往ボーリング地点

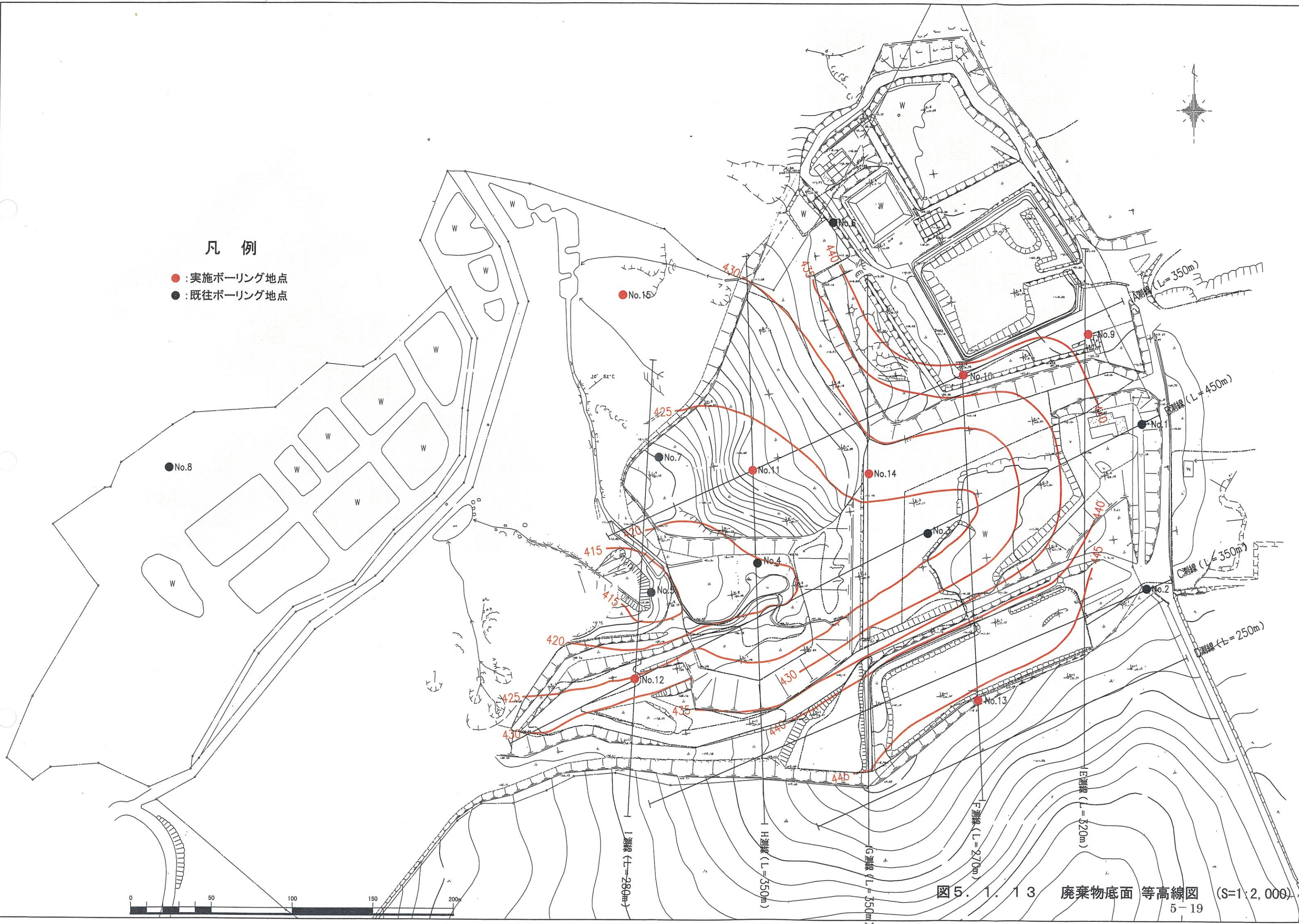


図 5. 1. 13 廃棄物底面 等高線図 (S=1:2,000)



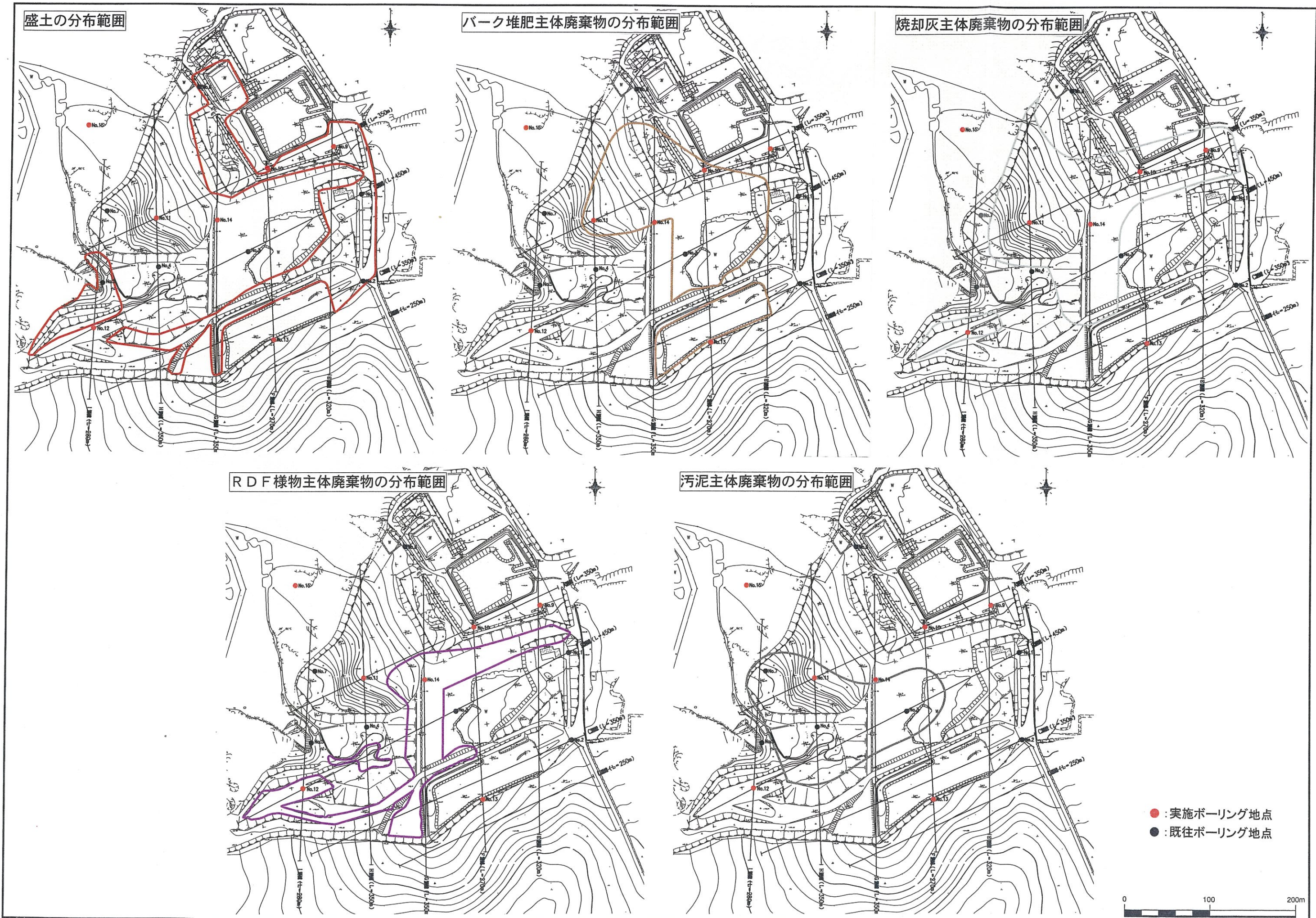


図 5. 1. 14 廃棄物毎の分布範囲図 (S=1/4,000)



表 5. 1. 1 不法投棄された埋積廃棄物の推定量一覧表

パーク堆肥(wa(b))

断面	区間距離 (m)	パーク堆肥(wa(b))			備考
		面積 (m <sup>2</sup> )	平均面積 (m <sup>2</sup> )	廃棄物量 (m <sup>3</sup> )	
北端	120	0	488	58,560	
A	80	976	1,124	89,920	
B	85	1,272	1,000	85,000	
C	35	728	364	12,740	
南端		0			
計		ΣV= 246,220 m <sup>3</sup>			
東端	40	0	13	520	
E	70	26	819	57,330	
F	65	1,612	988	64,220	
G	70	364	226	15,820	
H	70	88	44	3,080	
I	70	0	0	0	
西端		0			
計		ΣV= 140,970 m <sup>3</sup>			
合計	不法投棄埋積物(パーク堆肥)平均量 totalV= 193,595 m <sup>3</sup>				

焼却灰(wa(a))

断面	区間距離 (m)	焼却灰(wa(a))			備考
		面積 (m <sup>2</sup> )	平均面積 (m <sup>2</sup> )	廃棄物量 (m <sup>3</sup> )	
北端	120	0	976	117,060	
A	80	1,951	1,339	107,080	
B	85	726	363	30,855	
C	35	0	0	0	
南端		0			
計		ΣV= 254,995 m <sup>3</sup>			
東端	40	0	215	8,600	
E	70	430	338	23,660	
F	65	246	851	55,315	
G	70	1,456	1,564	109,480	
H	70	1,672	859	60,095	
I	70	45	23	1,575	
西端		0			
計		ΣV= 258,725 m <sup>3</sup>			
合計	不法投棄埋積物(焼却灰)平均量 totalV= 256,860 m <sup>3</sup>				

RDF様物(wa(r))

断面	区間距離 (m)	RDF(wa(r))			備考
		面積 (m <sup>2</sup> )	平均面積 (m <sup>2</sup> )	廃棄物量 (m <sup>3</sup> )	
北端	120	0	0	0	
A	80	0	185	14,760	
B	85	369	220	18,700	
C	35	71	36	1,243	
南端		0			
計		ΣV= 34,703 m <sup>3</sup>			
東端	40	0	0	0	
E	70	0	70	4,865	
F	65	139	349	22,685	
G	70	559	344	24,045	
H	70	128	81	5,635	
I	70	33	17	1,155	
西端		0			
計		ΣV= 58,385 m <sup>3</sup>			
合計	不法投棄埋積物(RDF)平均量 totalV= 46,544 m <sup>3</sup>				

汚泥(wa(o))

断面	区間距離 (m)	汚泥(wa(o))			備考
		面積 (m <sup>2</sup> )	平均面積 (m <sup>2</sup> )	廃棄物量 (m <sup>3</sup> )	
北端	120	0	107	12,840	
A	80	214	539	43,080	
B	85	863	432	36,678	
C	35	0	0	0	
南端		0			
計		ΣV= 92,598 m <sup>3</sup>			
東端	40	0	0	0	
E	70	0	80	5,600	
F	65	160	243	15,795	
G	70	326	303	21,210	
H	70	280	225	15,750	
I	70	170	85	5,950	
西端		0			
計		ΣV= 64,305 m <sup>3</sup>			
合計	不法投棄埋積物(汚泥)平均量 totalV= 78,451 m <sup>3</sup>				

埋積廃棄物の推定量

パーク堆肥量(Vb)	=	193,595	
焼却灰量(Va)	=	256,860	
RDF様物量(Vr)	=	46,544	
汚泥量(Vo)	=	78,451	
小計	=	575,450	≡ 575,000 m <sup>3</sup>
一時仮置き		33,000	
中間処理場		63,000	
上記小計	=	575,000	
	+		
	+		
	=		≡ 671,000 m <sup>3</sup>